

Goal Zero Yeti App 日本語マニュアル

「Goal Zero Yeti App」は、Yeti 1400/3000 WiFi及び、Yeti1500X/3000X/6000X専用のYeti製品のバッテリー状態確認や管理をするためのiOS端末/Android端末用アプリケーションです。

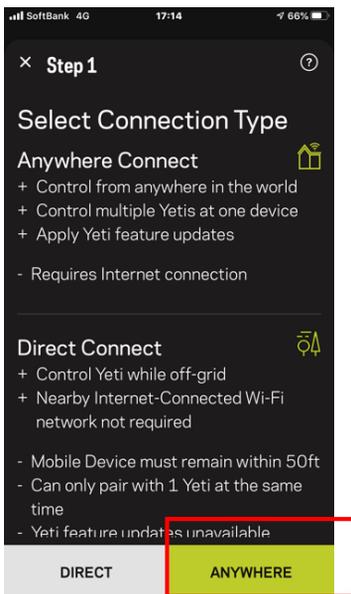
お使いのスマートフォンやタブレット端末に、apple製品はAppStoreより、Android製品はGooglePlayより、「Goal Zero Yeti」と検索いただき、ダウンロードをして下さい。

製品をお買上後は必ず一度、「ANYWHERE Connection」にてYeti本体をアプリケーションで接続いただき、ファームウェア（Yeti本体の管理システム）が最新版かどうかをご確認いただき、必要に応じ設定の項目から「Update Firmware」（アップデートファームウェア）をタップしバージョン更新を行ってください。

このアプリケーションを利用し「ANYWHERE」で接続すれば、WiFi機能搭載のYetiはネット環境が通じている環境であれば、どこからでもバッテリー残量の確認や入出力状況、各電源供給ポートのON/OFFなどの操作を可能にします。「DIRECT」で接続するとお使いの端末とYeti本体のWiFi電波が届く範囲において同様の操作が可能です。（DIRECTの場合ファームウェアのアップデートができません。）

WiFi機能搭載Yetiとの接続方法

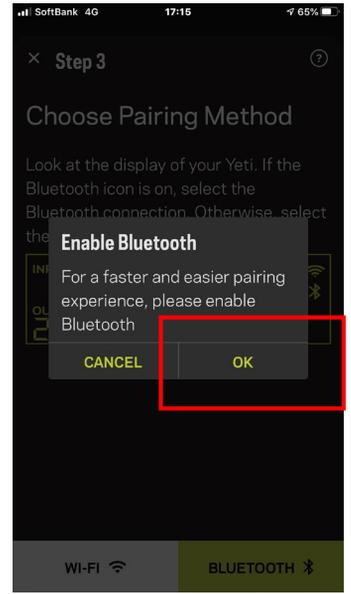
その後、お使いのスマートフォンあるいはタブレット端末を下記の手順で接続いただきます。手順の中で必要となるYetiのパスワードの初期設定は「GOALZERO」（大文字スペースなし）です。（Bluetooth 接続時は不要です）



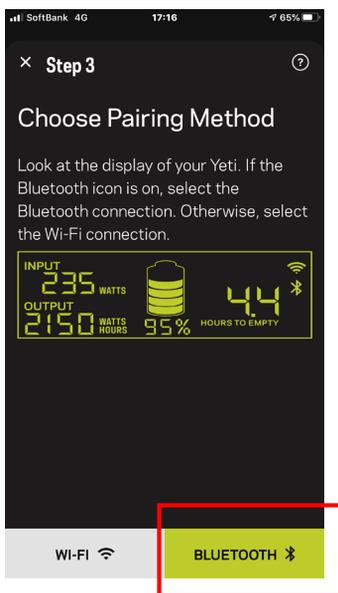
STEP1.アプリ初回起動時で、まずWiFiで接続可能にするために「ANYWHERE」をタップします。



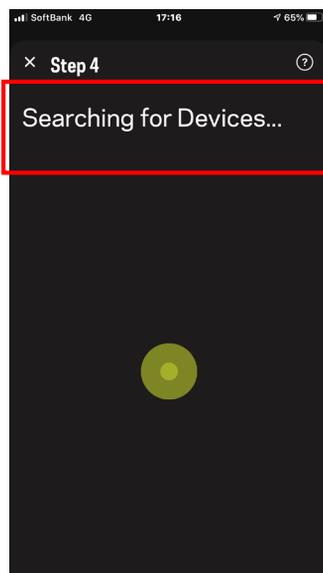
STEP2.ペアリングするために、Yeti本体の天板の中にある、WiFiのボタン(上)を4秒ほど長押しします。音が鳴り、Yeti本体のディスプレイにWiFiとBluetoothのアイコンが点滅します。（Bluetoothのアイコンは2020年以降のモデルのみです）



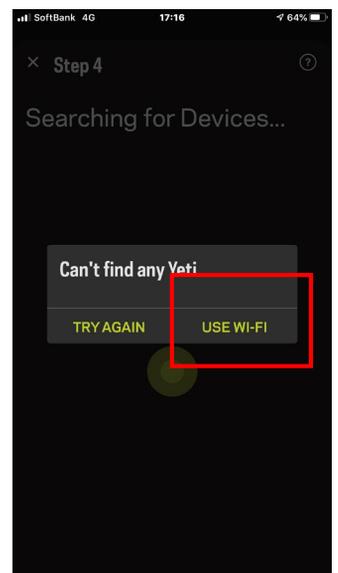
STEP3-1. Bluetoothを利用した接続を行うために、OKボタンをタップしBluetooth機能を有効にします。



STEP3-2.次の表示で「Bluetooth」をタップします。



STEP 4 -1.Yetiの検索が開始されます。



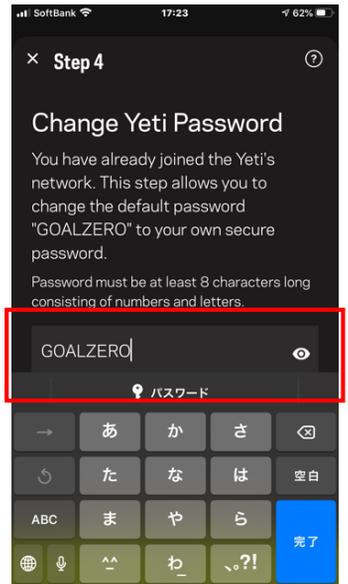
STEP-4-2.もしBluetoothモードで接続ができない場合は、次に表示されるアラートで「USE Wi-Fi」をタップして、WiFi接続を行ってください。



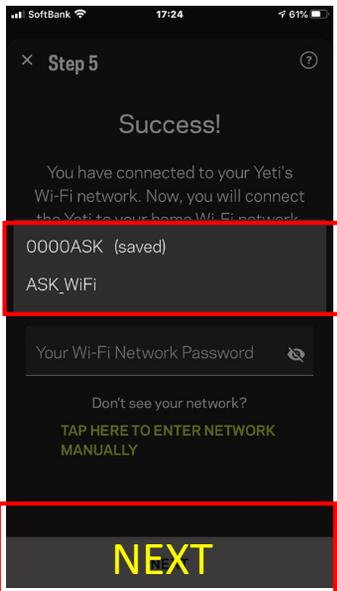
STEP4-3.次にネットワーク設定をするため、「FIND YETI」をタップし、接続させるYETIを検索します。



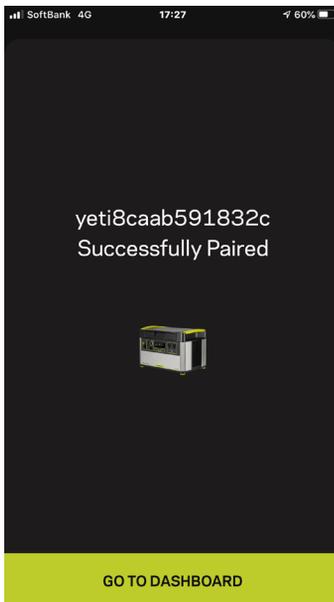
STEP4-4.各デバイスのWi-Fi設定画面で YetiXXXXXXXXXを選択します。（本体上蓋内側にWiFiの番号が記載されています。）



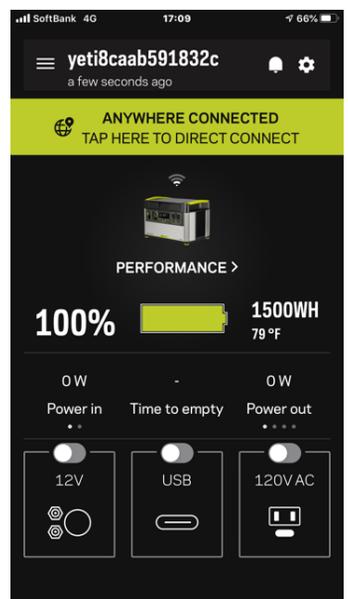
STEP4-5. 次にChange Yeti Password画面に切り替わるので、初期設定のパスワードである全て大文字「GOALZERO」と入力します。（後で変更も可）



STEP5.無線ルーターと接続するため、ご使用のルーターを選択します。ここではWiFiに接続する際のパスワードと同じパスワードを入力します。過去に設定している場合は、パスワードを変更・再入力することはないので、そのままNEXTを選びます。



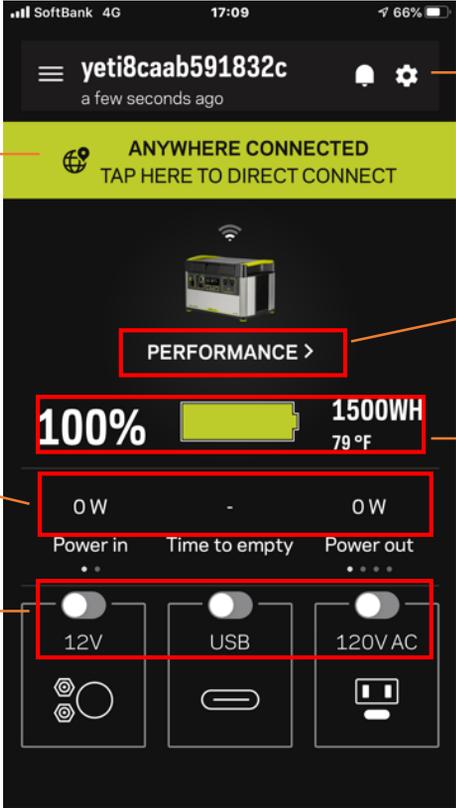
接続が完了すると「Successfully Paired」と表示されます。この画面に切り替わるまで、状況により3分ほどかかります。



接続が完了し、ダッシュボード（基本情報画面）の状態。

アプリの基本的な操作

接続されたYeti製品の基本情報を見れる画面では、各ポートのオン・オフのスイッチを操作でき、バッテリーの充電状況、環境温度などを確認できます。また設定ボタンをタップすることで、より詳細な設定が可能となります。



●接続：
このボタンをタップすることで、DIRECT ConnectionとANYWHERE Connectionを切り替えたり、再接続させたりすることができます。

●設定ボタン：
このボタンをタップすることで、詳細な機能の設定などを確認できます。

●入出力状態：
左：現在の入力状況
中央：充電までにかかる時間あるいは現条件で出力できる時間の目安
右：現在の出力状況と今までの出力電力

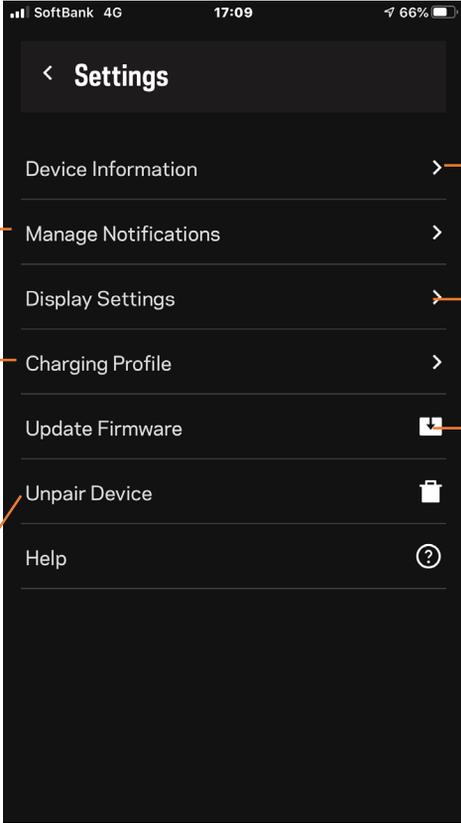
●充電設定：
設定した項目が表示されます。このボタンをタップすることで、詳細な充電設定を変更できます。（詳細は次のページにて）

●温度の確認と充電状態：
このセクションでは、現在の本体の温度とバッテリーの充電状態が表示されます。（°C表記にも切り替え可）高温地帯での使用や、寒冷地帯での使用の際、バッテリーの保護のためにも役立ちます。

●各出力ポートのオン・オフ：
この画面では、接続機器への電力供給のオン・オフを設定できます。使用していないポートをオフにすることで無駄な待機電力の消費を防ぎます。

「設定 (Settings)」画面でできること

右上の「設定 (Settings)」ボタンをタップすると、下記の画面に切り替わります。



●Manage Notifications：
各出力端子の状態の本体からアプリへの通知をオン・オフしたり、ファームのアップデートのお知らせの通知をオン・オフするなどの設定ができます。

●Charging Profile：
アプリのバージョンおよびYETI本体のファームが最新の場合追加される機能です。バッテリーのパフォーマンスを調整するための項目です。使用可能なパーセントや、いざという時に使用するための残存電力量や最大限バッテリーをいたわりたい場合など、チャージの細かなセッティングを設定できます。

●Unpair Device：
アプリ上から接続したYetiの接続を切り、アプリから削除するための項目です。

●Device Information：
接続されている機器のシリアルや、ファームウェアのバージョンなどが表示されます。

●Display Settings：
LEDディスプレイの温度表示を「°C」か「°F」の選択ができます。

●Update Firmware：
本体のファームウェアを最新にアップデートすることができます。（Goal Zero Yetiは製品をより効率よくご使用いただけるように、管理システムが随時更新されます。）

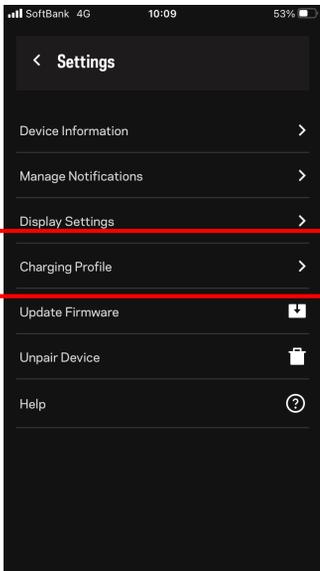
※お使いの端末の仕様やアプリのバージョン、YETIのモデルにより、画面表示や操作・機能が異なる場合があります。

「Charging Profile」について：

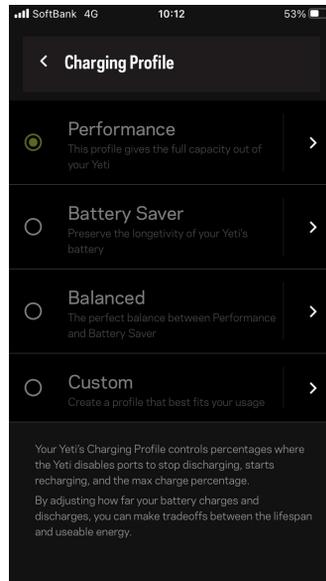
「Settings(設定)」項目の中に最新バージョンのアプリ、YETI本体ファームウェアで接続後に表示される「Charging Profile (チャージングプロファイル)」という項目があります。

この項目は、バッテリーの有効使用量や充電サイクルを自分好みに管理するため、3種類のプリセットと自由にカスタムできる項目の計4項目が用意されています。YETI使用開始時に、本機能を利用して、初期設定をご確認頂き、必要に応じプリセットあるいはカスタムに設定変更して下さい。

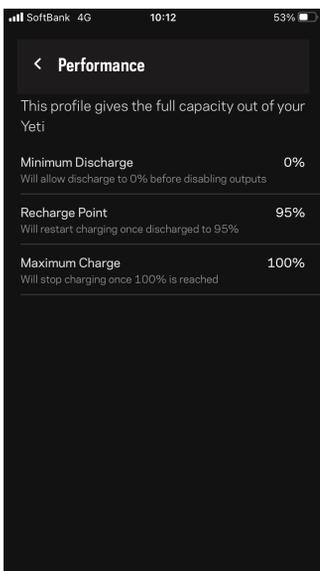
*用語：「Minimum Discharge(バッテリーの出力を停止する残存ポイント)」「Recharge Point(放電時の充電開始ポイント)」「Maximum Charge (充電を停止する最大ポイント)」を意味します。



1. Settings (設定) 画面を開くと、WifiでYETIと携帯電話でペアリングされている状態の場合、Charging Profileの項目が表示されません。最新バージョンのアプリ、YETIファームウェアでペアリングをしていない場合は表示されません。



2. Charging Profile画面を開くと、4つの項目が表示されますので、設定したい項目をタップして選びます。ペアリングをしていない場合、選択できません。

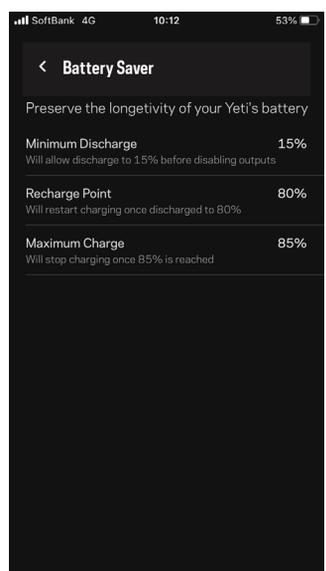


3. 「Performance」はバッテリーの充電容量をフルに使い切る、使用可能電力量を重視した設定です。

● 「Minimum Discharge」が0%のため、バッテリーを100%使いきることが可能です。

● 「Recharge Point」は、充電器などを接続している場合に、95%までバッテリーが放電されたら、再充電を開始することを意味します。

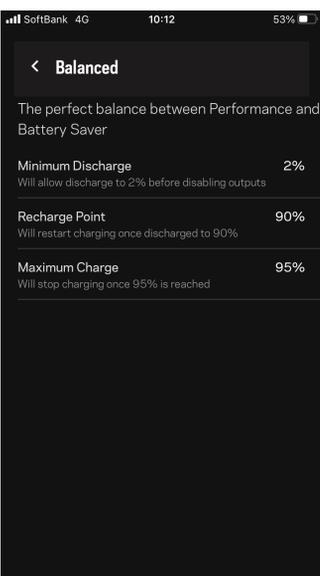
● 「Maximum charge」は100%のため、100%まで充電される設定です。



4. 「Battery Saver」は、バッテリー寿命を重視した設定のプリセットです。毎日の使用など、激しく使用する場合やあらかじめ使用電力の目安が分かっている場合は、この設定をお勧めします。● 「Minimum Discharge」が15%のため、バッテリーを使い切ることなく、出力させることができます。

● 「Recharge Point」は、充電器などを接続している場合に、80%までバッテリーが放電されたら、再充電を開始することを意味します。

● 「Maximum charge」が85%のため、85%までで充電が停止する設定です。

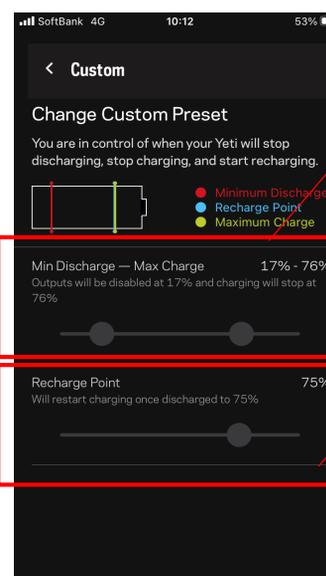


5. 「Balance」は、パフォーマンスとバッテリー寿命を考えた、基本的な設定です。防災用品として使用・保管が主な場合はこちらの設定がおすすめです。

● 「Minimum Discharge」が2%のため、バッテリーを完全に使い切らずに、かつバッテリー容量の大部分を使用可能です。

● 「Recharge Point」は、充電器などを接続している場合に、90%までバッテリーが放電されたら、再充電を開始することを意味します。

● 「Maximum charge」が95%のため、95%までで充電が停止する設定です。



6. 「Custom」は、設定を自分好みに変更できる項目です。

● 「Minimum Discharge」と「Maximum Charge」を設定可能です。

● 「Recharge」では、再充電を開始するポイントを設定可能です。